

施設名: 南西部地区公園

No.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標	10月～12月					1月～3月									
					指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン	所管課確認	指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン	所管課確認			
					評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の発生	時期	内容	対応状況	評価区分	コメント	改善・指摘事項の発生	時期	内容	対応状況	評価区分
1			安全安心・危機管理	個人情報の保護 ・公園・施設の利用者の情報管理は適切か ・要望苦情者の記録保存は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設利用者の情報、施設利用申請書類、貸貸出申請書類は申請書類別一つのファイルを基本とし管理しています。記載したファイルは鍵の付いた棚に保管しています。 ・苦情要望の問い合わせに対し、番号日付をつけ、問い合わせに対し直ぐに答えられるようにしています。 	B	引き続き、適切な管理を行うこと。	無					<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設利用者の情報は一施設につき一つのファイル、一回使用につき一書類を基本とし管理しています。 ・記載したファイルは鍵の付いた棚に保管しています。 ・苦情要望の個人情報についても引き続き適正な管理に努めています。 	B	引き続き、適切に管理すること。	無			
2			安全安心・危機管理	遊具等施設の点検 ・年1回の専門点検の実施について ・専門点検後の対応は適切か(修繕計画を策定しているか) ・日常点検の方法と頻度について(マニュアル等を作成しているか) ・日常点検後の対応は適切か(軽微な修繕の実施等)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門点検の結果を基に修繕箇所を確認と経過観察箇所の把握をし、必要あれば補修などを行いました。 ・グラウンド回復した遊具について、継続的な品質がなされているか確認をすると共に、現状の遊具の危険性の点検をしました。遊具周辺や降り台の着地部に穴が発生しているか、危険性がある場合には埋め戻し、今後の維持管理や修繕改良などを精査しました。 ・月一回の巡回時の点検のほか、作業時や地域の方の立会など人を替え観察するようにしました。 	B	引き続き遊具の安全性の向上に努めること。	無				<ul style="list-style-type: none"> ・新年度に向け第一四半期に実施した専門点検の結果と現場を比較し、劣化進行状況を確認しました。 ・経過観察の結果を踏まえて修繕計画を策定し、予算執行の早い段階での発注を可能にするための準備を行いました。 ・月一度の点検以外にも今回専門点検で指摘されたところを中心にを行いました。 ・劣化の状況、利用状況などを加味して施設を維持させるか、撤去するか、または代替案を提示していくかを考慮に入れ経過観察していききました。 	B	・修繕計画策定を評価する。新年度の専門点検の早期実施を期待する。	無				
3			安全安心・危機管理	緑地の管理 ・年間計画通り実施されているか(計画伐採含む) ・高・中・低木の植栽管理方法に工夫はみられるか(要望苦情以外) ・住宅地に接している緑地や、公園と同等の扱いである緑地の管理に工夫はみられるか(草刈含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・みよだ公園の高木剪定や危険木伐採、ゆりのき台緑地など萌芽更新を実施。今までの要望箇所を中心に実施しました。 ・管理上問題が生じる恐れがあると判断した箇所については、要望箇所を拡大して作業を実施しました。 ・ススキなどの稈刈に配慮した作業時期や範囲などの工夫をするよう指示しましたが、タイミングが早すぎた箇所もあり、よりいっそうの工夫をしていきたいです。 	B	・緑地内での計画伐採(萌芽更新)963本実施を評価する。	無				<ul style="list-style-type: none"> ・寺田緑地、緑町緑地、万葉公園、七国開道公園などを中心に実施し、多くの課題を解消させました。 ・しかし、寺田緑地では木を切ること自体反対、萌芽更新の内容を説明しても理解して頂けない方の対応に苦慮しました。また、緑町緑地では勝手に樹木を切りさらした危険な状況にしまった案件や、町会に入っていない方の意見が強く、町会側が折れる場面もあり、町会に入っているメリットが無いといわれ町会も苦慮することもありました。このような事態が深刻な状況になる前に、緑地の管理方法の周知、萌芽更新の認知度を高めるため雑木林の管理方法を記した大型看板を3年10年先を見据えた箇所に設置しました。 	B	・萌芽更新については周知活動を粘り強く続けることを期待する。 ・萌芽更新実施については、町会、自治会等との調整を密に行うこと。	無				
4			安全安心・危機管理	公園植栽管理 ・延べ作業面積・回数は基準以上か(草刈を含む) ・防犯上死角となりうる中低木の管理は適性か ・作業方法に工夫はみられるか	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈作業面積は計画にとらわれないよう早めに即実行し、予定より多い面積敷量を実施しています。 ・10月8日の台風通過の際には各自手分けし巡回し、以上の有無を確認しましたが、緑地からの出水により配水管が詰まり周辺道路が冠水するなどの事象が発生、市に報告し、対応していただきました。 ・巡回の回数は月1回以上実施され、台風や大雨などの自然災害が予想されている場合にも一斉に巡回し点検しました。 	B	・通学路に指定された園路周辺の死角解消は評価する。今後、みなみ野地区以外についても順次実施すること。	無				<ul style="list-style-type: none"> ・春の野草が出る前の下草刈、計画伐採予定地ならび4～5年前に萌芽更新した箇所の下草刈を行いました。 ・その結果新たな希少種の生育場所が出来ていたことが発見されました。 ・小比企北公園、栃谷戸東緑地、ゆりのき中央公園、紅葉台緑地、猿轡公園など高木期を含めた強剪定、伐採を実施しましたが、猿轡公園の防犯と交通障害を除去する伐採を実施した際に、理解していただけない方の苦情に八王子市と共に対応に苦慮しました。今後代替案としての低木植栽をすることとします。 	B	・中低木剪定についても可能な限り、町会・自治会等との調整をたうえで実施すること。	無				
5			安全安心・危機管理	安全管理 ・作業中の安全対策(立入禁止区域の設定、飛び石、埃、騒音対策、休憩時機械等の保管状況等)は適切か ・事故及び災害発生時の対応は適切か また、管理責任者及び市に対して迅速に報告をしているか ・巡回の方法・回数等は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・季節的に飛石による事故が多発する季節なので、立ち入り禁止区域の明確化と防止処置を指示し、管理本部での巡回時にチェックしました。 ・10月8日の台風通過の際には各自手分けし巡回し、以上の有無を確認しましたが、緑地からの出水により配水管が詰まり周辺道路が冠水するなどの事象が発生、市に報告し、対応していただきました。 ・巡回の回数は月1回以上実施され、台風や大雨などの自然災害が予想されている場合にも一斉に巡回し点検しました。 	B	・安全管理については今四半期も適切に管理されていた。台風等の災害時巡回内容について今一度確認すること。	無				<ul style="list-style-type: none"> ・作業時における安全領域を明確化するためカラーコーンでの範囲の明確化のほかに作業をしていることを明確化させる工夫を模索しました。 ・無事故で経過しているが、緊急連絡体制などの確認や安全対策などの情報をグループ内で共有しました。 ・総括所長と副所長、経営管理責任者は、各自受持ち範囲の巡回のほかに、移動時におけるグループ内作業の状況を見ながら指摘しあうようにしています。 	B	・安全領域の明確化など安全対策の向上努力を評価する。なお、安全対策については引き続き安全管理の徹底に努めること。	無				
6			安全安心・危機管理	清掃 ・計画通り実施されているか ・トイレ清掃について ・落葉清掃について ・側溝清掃について ・いたずら書き等に対する対応は迅速化か	<ul style="list-style-type: none"> ・今期は計画通り落葉清掃を主に実施しました。 ・トイレ清掃の状況をチェックし、状況が悪いと判断した場合はやり直しを指示しました。 ・計画通りの落葉清掃のほか、アドプト活動時に向いて共同して作業を行うところもあれば、作業日をずらして作業を実施するなど場所に合わせた清掃を行いました。 ・落葉の量がピークに達するまで側溝機能が消失しない程度の清掃にとどめ落葉の除去を優先することに助めました。 ・栃谷戸公園で施設の上で塗装作業をして汚したまま放置したところがあり、片付けると共に塗装よこれの除去をしました。 	B	・トイレ清掃は適切に実施されている。また、落葉、側溝清掃については落葉シーズン迎えたが適切に実施されている。	無				<ul style="list-style-type: none"> ・今期も計画通り実施しました。 ・トイレの水流状況や隠れたつまりなどがあるか確認し、根本原因の把握に努めました。 ・今期初めの落葉のピークがひと段落した時期を担って落葉清掃を集中して行い、風による落葉の移動を防ぎました。 ・上記の時期にあわせ出水が少ない時期に合わせた今期に側溝清掃も強化を行いました。 ・栃谷戸西緑地で落書きを発見や指摘など幾度も消す作業を行いました。 	B	・清掃(トイレ・落葉・側溝)については適切に実施している。栃谷戸西緑地の落書きについては根強い対応を望みます。	無				
7			安全安心・危機管理	施設修繕 ・施設の実態と課題を的確に把握しているか ・事務処理は適正か ・緊急性、重要性を考慮しているか ・効率的な予算執行をしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの課題に対し実施してきた対応について、台風や大雨などの災害時に機能しているか確認を実施し、改良を行いました。 ・検査の実施について適正に行われているか内部で確認を行いました。 ・季節的な緊急性を考慮し、重要視した箇所は現状を見ながら実施しました。 ・年度当初重要視していた事案についても起案時に当初提案した施工方法について再検討を行い、低予算で実施ができるものが無いかなら再確認を行うと共に、検討用の場合には優先順位を入れ替えるなどしました。 	B	・修繕対応に関しては円滑に実施している。今後も効率的に実施すること	無				<ul style="list-style-type: none"> ・市の指示事項に基づき竣工検査などを実施しています。 ・事務処理を適正に処理しているか確認をするのは当然であるが、過去に実施した業務についても他の方法でより効率的な業務が出来たか再確認しました。 ・凍結などによる破損は利用中止の貼紙をし凍結時期を避けた時期に実施することで同じ箇所の破損を防ぎました。 ・施設の利用実態が無い、重要性が薄れた施設については故障であることの張り紙をし、利用者の反応を見ながら対応していきようにしました。 ・このような手間をかけることにより、施設の利用実態を把握し、反応が無いものに対しては撤去もしくは費用を抑えるものに取り替えました。公園空間の効率的な利用、利用者の実態に合った施設修繕、効率的な予算執行を両立させるよう提案してまいります。 	B	・緑町公園園路広場及び排水改修について評価する。次年度実施部分についても早期の実施ができるよう努めること。なお、来年度の実施計画を示すこと。	有	平成27年度事業計画書記載	済		
8			効果効率的な施設の管理運営	施設管理(ドグラ含む) ・課題を集約して事業運営に活かしているか ・利用者の使用頻度が高い施設の実態と課題を的確に把握して対応しているか。また、工夫がみられるか	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回時のほか、施設利用者や公園アドプトなどの接触により施設課題の把握に努めています。 ・宇津貫緑地ログハウスについては、冬場の暖房強化のため温風ヒーターを増設しましたが、常設している薪ストーブの機能が思っている以上に優れていることが確認しました。 ・ただ、薪ストーブを扱える人の問題と、安定した燃料供給、火気取り扱いについては厳格にしなければならず、一部の決められた者が薪ストーブを利用することになっています。 	B	・施設管理については全般的に適切な管理されている。 ・宇津貫緑地ログハウスの活用について今後も検討すること。	無				<ul style="list-style-type: none"> ・課題の指摘については現地に赴き検討を重ねました。 ・宇津貫緑地ログハウスの冬場の利用が寒で利用しづらいため改善の要求があり薪ストーブの利用を促進させようとしたが、使いこなせる人がいないため、新たに強力石油ストーブを導入し改善はしました。 ・しかし、燃料などの利用費用や火気責任の問題が発生しており今後市と協議を続けることになりました。 	A	・宇津貫緑地ログハウスへの石油ストーブ導入したことを評価する。なお、火気責任について管理者としてはどのように考えをしているか	有	火気責任者にはログハウスの管理を担当しているスタッフに任命しており、使用後の火器状況のチェックを行いました。	済		

施設名:南西部地区公園

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と 成果的な目標・指標	所管課年間評価		MEMO
					評価区分	コメント	
1			安全安心・危機管理	個人情報の保護 ・公園・施設の利用者の情報管理は適切か ・要望苦情者の記録保存は適切か	B	・年間を通じて個人情報の保護管理については適切に管理されていた。来年度以降も引き続き、適切に管理すること。	
2			安全安心・危機管理	遊具等施設の点検 ・年1回の専門点検の実施について ・専門点検後の対応は適切か(修繕計画を策定しているか) ・日常点検の方法と頻度について(マニュアル等を作成しているか) ・日常点検後の対応は適切か(軽微な修繕の実施等)	B	・D判定された遊具に関しては7月中(夏休み前)にすべて撤去並び修繕したことを評価する。 ・次年度に向けて修繕計画を策定したことを評価する。	
3			安全安心・危機管理	緑地の管理 ・年間計画通り実施されているか(計画伐採含む) ・高・中・低木の植栽管理方法に工夫はみられるか(要望苦情以外) ・住宅地に接している緑地や、公園と同等の扱いである緑地の管理に工夫はみられるか(草刈含む)	B	・計画伐採については各緑地で実施したことを評価する。 ・住宅地に接する緑地管理については、第2四半期時に管理体制改善を実施した。来年度向けて改善内容を検証し、必要とあれば再度検討すること。	
4			安全安心・危機管理	公園植栽管理 ・延べ作業面積・回数は基準以上か(草刈を含む) ・防犯上死角となりうる中低木の管理は適性か ・作業方法に工夫はみられるか	B	・各公園の防犯上死角、交通障害のため中低木の剪定・伐採の実施は評価する。ただし、高木同様、町会、自治会等との調整を大切にすること。	
5			安全安心・危機管理	安全管理 ・作業中の安全対策(立入禁止区域の設定、飛び石、埃、騒音対策、休憩時機械等の保管状況等)は適切か ・事故及び災害発生時の対応は適切か また、管理責任者及び市に対して迅速に報告をしているか ・巡回の方法・回数等は適切か	B	安全管理については適切に管理されている。	
6			安全安心・危機管理	清掃 ・計画通り実施されているか ・トイレ清掃について ・落葉清掃について ・側溝清掃について ・いたずら書き等に対する対応は迅速化か	B	・清掃(トイレ・落葉・側溝)については適切に実施している。引き続き適切な実施を希望する。	
7			安全安心・危機管理	施設修繕 ・施設の実態と課題を的確に把握しているか ・事務処理は適正か ・緊急性、重要性を考慮しているか ・効率的な予算執行をしているか	B	・施設修繕については緊急性、重要性を考慮している。万葉公園「こども文庫」でホームレス対策用改修を実施したことを評価する。	
8			効果効率的な施設の管理運営	施設管理(ドッグラン含む) ・課題を集約して事業運営に活かしているか ・利用者の使用頻度が高い施設の実態と課題を的確に把握して対応しているか。また、工夫がみられるか	A	・宇津貫緑地ログハウスについては、既存の冷暖房施設がない中で石油ストーブの導入などを行い利用者の利便向上に努めていることを評価する。	

No.	期末モニタリング項目番号	評価項目	具体的な事業内容と 成果目標・指標	所管課年間評価		MEMO
				評価区分	コメント	
9		効果効率的な施設の管理運営	人員配置・研修体制 ・計画通りの人員体制で事業運営をしているか ・作業に適した人員配置か ・管理責任者または地域担当者は、作業実施時の監督及び作業後の確認をしているか ・スタッフ研修は充実しているか ・「公共性・公平性・公正性」が図られる研修を計画・実施しているか	B	研修については適切に管理されている。特に公共性、公平性、公正性についての研修を実施していることを評価する。	
10		効果効率的な施設の管理運営	第三者委託 ・適切な執行をしているか(市との事前協議等) ・第三者委託の事業水準は適切か(契約書、仕様書の取り交わし等) ・経費削減の取り組みや工夫はみられるか	B	第三者委託については適切に執行し、管理されている。	
11		環境配慮	環境への配慮 ・公園資源有効活用事業の実施状況について ・LAS-Eに沿った事業運営をしているか ・必要に応じて自然環境保全の取り組みをしているか	A	・公園資源有効活用については、不要施設の再利用を行うなど評価する。 ・特定外栗種のオオキンケイギク駆除を評価する。オオキンケイギクに関しては、みなみ野地区での勢力拡大が続いているので、更なる駆除に努めること。	
12		サービス向上・利用者増	要望苦情 ・件数や内容を分析して傾向を把握しているか ・特に件数の多い要望苦情の対応は適切か ・要望苦情の件数が多い公園での事前の対策は適切か ・迅速性・公共性・公平性・公正性の確保と処理方法は適切か	B	・第2四半期で草刈要望・苦情が集中したことについては、作業スケジュールなどの問題があると考え、来年に向け検証・改善すること。	
13		サービス向上・利用者増	利用者満足度調査の実施と反映 ・実施したか(実施していない場合は実施計画について) ・データの集約及び分析をした方法について(計画について) ・事業への反映の時期及び方法等について(計画について)、またその成果は	B	・引き続きの案件については早期解決を期待する。 ・利用者満足度調査は適切に実施されている。	
14		サービス向上・利用者増	地域や公園アドプト団体、ボランティアとの連携や協働 ・方法・内容等は適切か ・工夫はみられるか ・公園アドプト団体への支援は適切か ・活動の成果について	A	・各公園アドプト団体だけでなく、西南部環境市民会議イベントに協力するなど地域やボランティアに対しても適切な連携や協働を実施している。	
15		サービス向上・利用者増	自主事業の取り組み ・七国公園トッグランのしつけ教室 ・ツリークライミング教室 ・地域行事 ・その他、計画以外に実施した自主事業について	B	・今年度については、タイムカプセル関連での「みなみ野フェスタ」参加を始め地域行事に積極的に参加したことを評価する。	
16						